

2. 食べ物を紹介しよう

全体の流れ

準備 活動の説明をする（10分）

食べ物を紹介するために必要な語彙・表現を練習する（30分）

交流学习事例1 発信) 簡単な食べ物紹介文を作成し、資料を作成する（45分）

受信) 食べ物紹介文を読む+コメントを書く（45分）

交流学习事例2 発信) メニューに載せる料理の説明文を作成する（45分）

+資料を作成する（45分）

受信) 届いたメニューを読む+食べてみたい料理を選ぶ（45分）

交流学习事例3 発信・受信) 相手に送りたいお菓子の紹介文を作成する（45分）

+Skypeで紹介する（30分）+活動を振り返る（15分）

役に立つ表現

- ・辛いです。 매워요.
- ・甘いです。 달아요.
- ・おいしいです。 맛있어요.
- ・～が好きです。 ~를/을 좋아합니다.
- ・これは～です。 이것은～입니다.
- ・～にはいろいろな種類があります。 ~에는 여러 종류가 있습니다

ことば

食べ物の名前

ごはん	밥
パン	빵
みそ汁	된장국
キムチ	김치
納豆	нат豆
野菜	야채
魚	생선
ラーメン	라면
肉	고기
お菓子	과자

ご飯を食べるとき

毎日	매일
よく	자주
朝ごはん	아침 밥
昼ごはん	점심 밥
晩ごはん	저녁 밥

お弁当 도시락

食べ物の種類、色、形を表すことば

～味	～맛
赤	빨간색
白	하양색
黄色	노란색
三角形	삼각형
四角形	사각형
丸い形	원형

パワーポイント教材例（日本語クラス用）

パワーポイント教材例（韓国語クラス用）

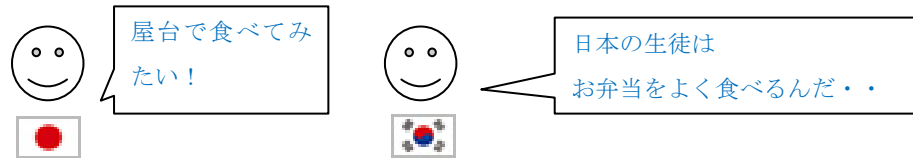
テーマ	2-1 一日の食生活を紹介しよう
目標	朝、昼、晩に食べている料理について紹介することができる。
形態	非対面
教具・教材	食事の写真・画用紙・ペン
生徒が行う活動 参照プリント <u>韓国語クラス</u> <u>日本語クラス</u>	1) 準備 ①教師が作った一日の食生活紹介資料（パワーポイントや、画用紙に描いたものなど）を見ながら、紹介を聞く。 ②使用された語彙や表現を確認し、練習する。 ③朝・昼・晩の食事の写真を撮影する（宿題）。 グループで行う場合は、朝、昼、晩それぞれ一人ずつ担当させてもよい。 2) 紹介資料の作成 ①準備した写真を使って、紹介のために必要な語彙・表現を確認する。辞書を引いたり、教師に聞いたりする。 ②画用紙を使って、写真を貼り付け、コメントを書き入れる。 ③完成した資料をクラス内で発表した後、相手校に送る。 3) 届いた資料の理解とフィードバック ①パートナーが作った資料を受け取り、読む。わからない部分について教師に聞く。 ②自分の食生活と比べて、共通点、相違点など気がついたことを発表する。 ③相手校の生徒に感想や質問を母語で書いて送る。 (教師が相手校の先生に送り、フィードバックしてもらう)
ポイント	・学習言語で表現が難しい部分については、母語で書いてよい。
バリエーション	・パワーポイントの資料を作ることもできる。 ・3) ⇒ 1) ⇒ 2) の順に進めても良い。

テーマ	2-2 オリジナルのメニューを作ろう
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本・韓国でよく食べる料理について、料理名を書き、簡単な説明ができる ・相手の国のメニューを読み、どんな料理かを理解することができる ・メニューを使って、食べてみたい料理を選び、注文することができる
形態	非対面
教具・教材	写真・画用紙・ペン
生徒が行う活動 参照プリント <u>韓国語クラス</u> <u>日本語クラス</u>	<p>1) 準備</p> <p>①もし相手校の生徒が来たら、どんなお店でご飯を食べたいかを考える。</p> <p>②そのお店の代表的な料理をリストアップし、学習言語でどのように書くかを調べる。</p> <p>③料理の写真を準備する。</p> <p>④料理についての簡単な説明（コメント）文を考える。</p> <p>2) メニューの作成</p> <p>①画用紙に料理の写真を貼り、料理名や値段を書く。さらに、簡単な説明（コメント）を学習言語と母語の両方で書き添える。</p> <p>②クラス内で完成したメニューを見せながら、学習言語で簡単に紹介し、相手校に送る。</p> <p>3) 届いたメニューの理解とロールプレイ</p> <p>①届いた資料を見て、気がついたことや、どんな料理が食べてみたいかを母語または学習言語で発表する。</p> <p>②届いた資料を使って、もしこの食堂に行ったらどう注文したら良いかを確認し、実際に注文のロールプレイをしてみる。</p>
ポイント	・メニューを使ってロールプレイに発展させることができる。
バリエーション	・自分たちが作ったメニューを使って、「食堂で」という想定ロールプレイをし、ビデオに撮って送ったり、食堂でよく使う表現を相手に教えてあげたりすることもできる。

テーマ	2-3 好きなお菓子を紹介しよう
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちがよく食べるお菓子を簡単な日本語と韓国語で紹介することができる ・相手校からプレゼントされたお菓子を試食して、感想を述べるすることができる
形態	対面
教具・教材	Webカメラ、マイク、お菓子の実物や写真
生徒が行う活動 参照プリント	<p>1) 準備</p> <p>①紹介したい、好きなお菓子を決める。</p> <p>②お菓子の紹介文を母語と学習言語で作る。</p>

<p>韓国語クラス 日本語クラス</p>	<p>③クラス内で紹介のリハーサルをする。 ④好きなお菓子の写真や実物を準備する。(宿題)</p> <p>2) Skypeを使った紹介 ①相手校の生徒と相互にお菓子の紹介をしあい、紹介してもらったお菓子をメモする。 ②相手の生徒に聞いてみたいことを学習言語か母語で質問する(必要に応じて教師が通訳する) ③紹介文とともに相手校にお菓子を送る。</p> <p>3) 振り返り ①紹介してもらったお菓子にはどのようなものがあったかをチェックする。 ②食べてみたいお菓子について話す。 ③相手校からお菓子が届いたら実際に食べてみて、感想コメントを書き、相手校に送る。</p>
<p>ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と韓国の両方にあるお菓子、それぞれの国の個性が出ているお菓子なども加えると、お菓子文化の理解に新しい視点が加わる。 ・実際にプレゼントし合い、体験を共有できる。
<p>バリエーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子の値段当てクイズを行うこともできる。 ・お菓子の名前を読みあげて、カルタ通りの要領でお菓子をとるゲームもできる。

生徒の反応



本授業終了後、作成された資料のうち、このトピックのものが最も印象に残っていると答える生徒が多くいた。特に資料の中で紹介されている食べ物（お菓子）を実際に食べてみるという活動は生徒の心の中に強く印象付けられたようであった。日本側では実際に韓国へ旅行した経験を持つ生徒もいたため、紹介された料理を実際に現地で食べた感想を聞くこともでき、見て、読んで、話して、聞いて、立体的にこのテーマについて理解しながら学べたものと思われる。

日韓比較ミニコーナー

日韓の食べ物